

学術講演会

ウインク、ファーストネーム、そして微笑み：

アメリカ大統領選挙と言語コミュニケーション学

日時： 2008 年 12 月 23 日 (祝) 午後 3 時～5 時

場所： 立命館大学東京キャンパス 教室 2

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 8 階

TEL. 03-5224-8188 URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/tokyo/access.htm>

プログラム：

午後 3 時～3 時 05 分	挨拶	立命館大学言語教育情報研究科長	松田 憲
午後 3 時 05 分～3 時 15 分		「国際通用性を高めた言語教育専門家の養成」プログラム紹介	
		立命館大学言語教育情報研究科副研究科長	津熊良政
午後 3 時 15 分～5 時	講演		

講演講師： 東 照二 立命館大学 大学院 言語教育情報研究科教授
(米国ユタ大学教授兼任)

講演要旨：

2008年のアメリカ大統領選挙は、その政治的帰結はともかくとして、コミュニケーションのしくみを考える際に、とても示唆に富むものでした。特に、ことばを使って聴衆をひきつけ、魅了し、説得するためのさまざまな工夫、そしてその効果、影響などを、実際にこの目で観察できる、いわば壮大な「ことば力」の実験室であったといえるでしょう。ここでは、言語コミュニケーション学の観点から、全米で7000万人が視聴したという副大統領候補(ジョー・バイデン対サラ・ペイリン)テレビ討論会、そして大統領候補(バラック・オバマ対ジョン・マケイン)テレビ討論会を中心にして、そのレトリックの特徴を考えてみることにします。そして、そこからみえてくる「言語力」を「人間関係の交渉」(Myers-Scotton 1993)というフレーム・ワークの中で捉えなおしてみたいと思います。

定員： 60名 (参加希望者は、以下のメールアドレスにご連絡ください。)

Email: doku-ken@st.ritsumei.ac.jp (立命館大学独立研究科事務室)

入場無料